

地球

昭和拾年

七月
十二月

第貳拾四卷

地球 第貳拾四卷 總目錄 昭和拾年 七月—十二月 (アラビア數字は號數を示す)

圖版

第一版	アンガウル島地質圖	1	榎山 次郎	(第一號)
第二版	平壤地質圖	1	藤田 元春	(第二號)
第三版	昭和十年七月静岡地震に發生した大谷層面斷層線	1	岩根 保重	(第三號)
第四版	口永良部新岳第一溶岩薄片寫眞	1	小野山武文	(第四號)
第五版	高岡市並に津幡町附近地質圖	1	西龜 正夫	(第五號)
第六版	有馬溫泉泉源分布圖	1	秋山 榎士	(第六號)
	北朝鮮の明川中新統	1		
	支那文化の發達地に就いて	1		
	蘭學創始以前長崎に於ける萌芽期の近世地理學	1		
	南洋統治領内主要島嶼の地形と地質雜觀(其の二)	1		
	美保關町の研究	1		
	江濃境上に於ける美濃の山村—養老郡時村字時山に就いて	1		

平壤府附近の地質(豫報).....	2	前島 俊郎.....	二〇八
小林貞一學士の南朝鮮奥陶紀頭足類研究に對する批判 <small>三二</small>	2	清水 三郎.....	二〇九
日向國海岸砂丘地域の研究 <small>三二</small>	2	小幡 忠宏.....	二一〇
江戶時代の世界地理學史上に於ける職方外紀に就て.....	2	小牧 實繁.....	二一〇
籌海圖編日本航路考 <small>三二</small>	2	鮎澤信太郎.....	二一〇
日本輸出陶磁器の動向 <small>三三</small>	2	藤田 元春.....	二一〇
静岡地震の地質學の見解 <small>四三</small>	3	杉山 精一.....	二一〇
茨城縣稻敷郡阿見村及び舟島村の貝化石層.....	3	横山 次郎.....	二一〇
隱岐の新名勝天然記念物.....	3	大炊御門經輝.....	二一〇
江濃境上に於ける美濃の山村.....	3	園山市太郎.....	二一〇
口永良部島第一熔岩中の斑晶をなす斜長石の累帶構造について.....	4	秋山 桓士.....	二一〇
岡山縣眞庭郡川上村及八束村に於ける珪藻土の産狀.....	4	本間不二男.....	二一〇
アドワの敗戦とは?.....	4	松下 進.....	二一〇
高岡市並に石川縣津幡町附近の第三紀層 <small>二</small>	5	瀧川 規一.....	二一〇
	5	小野山武文.....	二一〇

櫻島噴火の豫想..... 5 本間不二男..... 三五

白人退却の朝鮮・滿洲..... 5 高木 直明..... 三五

南懷仁が支那に紹介した世界地理書に就て..... 5 鮎澤信太郎..... 三六

有馬温泉の湧出量..... 6 初田甚一郎..... 四六

明治初期を中心とした福島縣の水路交通(一)..... 6 安田 初雄..... 四六

新著紹介

日本近世機械志..... 1 壹 教材解説世界新地誌..... 4 三五

康德二年版滿洲國現勢..... 1 壹 カムチャツカ探検旅行記..... 4 三五

風害を被つた京都の風致..... 1 壹 Alfred König: Die Lokalisation der Osterreichischen..... 4 三二五

郷土本位地理學論叢..... 1 壹 Papierindustrie Wirtschaftsgeographie 6. Heft..... 4 三二五

大日本讀史地圖..... 2 二五 飛躍日本の移植民地理..... 5 三九六

朝鮮の聚落後篇..... 2 二五 プロツク經濟地理..... 5 三九六

日本礦物資料(續第一卷)..... 3 三七 近世錦繪世相史(第一卷)..... 5 三九九

地理學年報(第三卷)..... 3 三六 歐亞點描..... 6 四〇七

地理論叢(第六輯)..... 3 三六 支那の農業と工業..... 6 四一七

北海道地學に關する文獻目錄(II)部門別..... 3 三六 信州寒天誌..... 6 四二七

地誌目錄..... 3 三六 日本北アルプス地方地圖(同説明書附)..... 6 四三七

人文地理學通論..... 3 三六 雜 報..... 三

世界石油業の現勢……………	1	四
極東國營漁業トラスト罐詰工場……………	1	四
蘇聯邦棉花栽培……………	1	五
トリエント港……………	1	五
カナダの貿易……………	1	七
米國の對日貿易……………	1	七
ランカシア棉業……………	1	七
山西省の農産……………	1	七
里昂に於ける本邦生絲……………	2	一五
四川省の富源……………	2	一五
最近支那の燐寸工業……………	2	一五
海拉爾の畜産……………	2	一五
察哈爾の農業……………	2	一六
邦品進出問題……………	2	一六
アラビヤ・マスカットへの日本品……………	3	一四
マルガリン工業の統制……………	3	一四
山西省の鑛業……………	4	一七
米國石油の産地……………	4	一八
山東省の農地の地割……………	4	一九
本邦工業の山東進出……………	4	三三
昭和九年度の日本貿易……………	5	四〇
陝西省の物産……………	5	四一
廣東省の經濟特質……………	5	四三
秘魯國棉花産出……………	5	四〇
ガルフコーストの石油……………	6	四六
ロシアの地下埋藏富源……………	6	四六
白耳義領コンゴ……………	6	四六
中華民國々道路線網……………	6	四七
アマソンの材木……………	6	四八
獨逸の森林……………	6	四八
珊瑚化石新産地……………	6	四八

地 球

第 二 十 二 卷 第 一 號

昭 和 十 年 七 月 一 日 發 行

主 要 目 次

圖 版 第 一 版 アシガウル島地質圖

北朝鮮の明川中新統……………理學博士 横山次郎

支那文化の發達地に就いて……………文學士 藤田元春

蘭學創始以前長崎に於ける萌芽期の

近世地理學……………文學士 岩根保重

南洋統治領内主要島嶼の地形と

地質雜觀(其の二)……………理學士 小野山武文

美保關町の研究……………西龜正夫

江濃境上に於ける美濃の山村―

養老郡時村字時山に就いて……………秋山桓士

新 著 紹 介

雜 報

第 二 十 五 卷 總 目 錄

京 都 帝 國 大 學 內

地 球 學 團

地球第二十四卷第一號 (昭和十年七月)

目次

圖版 第一版 アンガウル島地質圖

北朝鮮の明川中新統……………理學博士 槇山次郎……………一

支那文化の發達地に就いて……………文學士 藤田元春……………九

蘭學創始以前長崎に於ける萌芽期の近世地理學……………文學士 岩根保重……………三

南洋統治領内主要島嶼の地形と地質雜觀(其の二)……………理學士 小野山武文……………一〇

美保關町の研究…………………………西龜正夫……………五

江濃境上に於ける美濃の山村—養老郡時村字時山に就いて……………秋山桓士……………一〇

新著紹介

- 日本近世饑饉志
- 康德二年版滿洲國現勢
- 風害を被つた京都の風致
- 郷土本位地理學論叢
- 世界石油業の現勢
- 極東國營漁業トラスト雜誌工場
- 蘇聯邦棉花栽培
- トリエスト港
- カナダの貿易
- 米國の對日貿易
- ランカンシア棉業
- 山西省の農産

雜報

佐渡夏期地理學講習會

一、會期

自八月八日 至八月十一日

四日間

每日

午前八時より 正午まで

(地理學六月號に七日乃至十日とありしも) (講師の都合により前記の如く變更す。)

佐渡相川町 相川小學校

二、會場

講師及講題

一、題

末

定

東京帝國大學教授 佐藤 弘氏

八月九日

「政治地理上の若干の問題」

東京女子高等師範教授 飯本信之氏

八月十日

「日本海航路史」

第三高等學校教授 藤田元春氏

八月十一日

「地質學上より見たる佐渡」

新潟高等學校教授 德重英助氏

二、臨時指導

二見海岸の巡檢

史蹟名勝見學

會期中毎日午後

佐渡鑛山・天下の絶景・尖閣灣の探勝(舟遊)・平根崎・千疊敷・春日岬・眞野宮・眞野御陵・戀ヶ浦・國分寺及舊礎石・阿佛房・日野資朝卿の墓・眞新丸遺蹟・一宮御墓・根本寺・黒木御所・妙照寺(日蓮遺蹟)・蓮華寺・御所櫻・城山公園・箭島經島舟遊・度津神社・丸大・葛西二大味噌醸造會社

三、夜の行事

八月十日夜

會員慰安 郷土藝術「民謡と舞踊の夕」 相川音頭・佐渡おけさ

(天下の名歌手村田文藏以下立浪會一行出演)

四、特別視察

金北登山・外海府絶景探勝

(閉講後有志の一隊を組織して案内する。)

五、會費

金參圓也

(申込と同時に小爲替にて事務所宛送付のこと。)

六、定員

三百名

(但しこの場合會費を返送することある。)

七、宿泊費

旅館宿泊料

一泊(二食) 金壹圓參拾錢

八、申込期限及申込所

昭和十年七月二十五日限

九、汽車汽船三割引

(學校職員 視學、學務委員に限り省) 割引券は會員

券と共に送附する。

一〇、其他

1. 晝食は會場に於て斡旋する。
2. その他不明事項あらば事務所宛照會せられたし。

主催

佐渡郡地理學研究會
佐渡郡教育會
新潟縣教育會

地球學園規約

- 第一條 本園を地球學園といふ。
- 第二條 本學園は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川道分町京帝國大學地質學教室内に置く、又は會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學園の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- 第五條 本學園員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學園員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を發行所へ送金する事。
- 第七條 學園を脱退しやうとする者は、其の旨を學園に通知すること。

註文規定

- ① 講讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さる度候
- ② 本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下さる度候
- ③ 郵券代用にての御註文は一割増に願上候
- ④ 振替貯金にての御送金は(振替大阪七參麥麥番、東京五貳六〇七番)博多成象堂に願上候
- ⑤ 前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すに付直に御拂込下さる度候
- ⑥ 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下さる度候

定價		
一冊	定價金五十錢	郵税金壹錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

特大號定價の差額は別に申受候
 廣告料 一頁 金五十圓

昭和十年六月二十五日印刷納本(第二十四卷) 定價金五拾錢
 昭和十年七月一日發行(第一一號)

不許複製
 禁轉載

發行所

編輯者 京帝國大學 地球學園
 右代表者 藤田元春
 發行所 大阪府南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地 博多久吉
 印刷所 大阪府西區阿波羅中通二丁目四番地 井下精一郎
 印刷所 大阪府西區阿波羅中通二丁目四番地 井下書籍印刷所
 大阪府南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
 電話特南壹壹七七番

發賣所

東京堂 東海堂 大東館
 北隆館 盛文館 參文社
 盛文館 寶文館 川瀨日進堂
 共盛社 大盛社 川瀨書店
 マガジン 星野書店
 (東京) 東京堂
 (大阪) 北隆館
 (神戸) 盛文館
 (京都) 寶文館
 (名古屋) 共盛社

博多成象堂

振替(東京五貳六〇七番) 大阪七參麥參番
 東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
 大阪府南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. XXIV. No. 1.

July, 1935.

Plate 1. Geological Map of Angaur Island on the Pacific Ocean.

The Meisen Series, a Miocene Strata, in North Korea.

By J. Makiyama, *R. H.* 1

Where did the Chinese Civilization develop?

By M. Fujita, *B. S.* 9

Modern Geography in Nagasaki before the Dutch Learning was taught.

By Y. Iwane, *B. S.* 34

Morphological and Geological Notes of the principal Islands in the Japanese Pacific Mandate. (2)

By T. Onoyama, *R. S.* 45

Town of Mionoseki, Shimane Prefecture.

By M. Nishiki 58

Tokiyama, a Mountain-Village on the Boundary of two Provinces, Ōmi and Mino.

By K. Akiyama 65

New Books—Geographical Notes.

Index to the Volume XXIII.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University